

北海道地方ダム等管理フォローアップ委員会（第 51 回）議事要旨

1. 日 時：令和 8 年 3 月 6 日（金）13 時 00 分～17 時 00 分
2. 場 所：アスティ 4 5 16 階 1606 大研修室
3. 出席者：黒木委員長、赤坂委員、岡村委員、中井委員、根岸委員、松井委員、丸谷委員、
山下委員

4. 議事要旨

漁川ダム・美利河ダム・二風谷ダムの定期報告書（案）について審議した。

各委員からの主な意見は以下のとおりである。

●漁川ダム定期報告書（案）について

- ・マンガン対策の評価に際しては、対策の位置づけや濃度上昇の要因に留意しつつとりまとめること。
- ・植生の変化のとりまとめにあたっては、他事例において DX 技術を用いた、効率的かつ定量的な植生断面調査が試行されている。今後の調査で導入を検討してはどうか。（他のダムも同様）
- ・生物分野については、現在の気候変動も考慮し、分析項目を必要に応じて見直していくことが望まれる。（他のダムも同様）
- ・漁川ダムでは実際に色彩のパネルサンプルを用いた検討を行っている。そのような検討プロセスを景観ガイドラインに記載しておくべきである。（他のダムも同様）

○定期報告書については了承された。指摘事項は定期報告書に反映させる。

北海道地方ダム等管理フォローアップ委員会（第 51 回）議事要旨

1. 日 時：令和 8 年 3 月 6 日（金）13 時 00 分～17 時 00 分
2. 場 所：アスティ 4 5 16 階 1606 大研修室
3. 出席者：黒木委員長、赤坂委員、岡村委員、中井委員、根岸委員、松井委員、丸谷委員、
山下委員
4. 議事要旨

漁川ダム・美利河ダム・二風谷ダムの定期報告書（案）について審議した。

各委員からの主な意見は以下のとおりである。

●美利河ダム定期報告書（案）について

- ・生物の経年出現状況の整理では、近年の研究で分類が進んだ種を扱う場合、誤解を受けな
いよう、分類の経緯について注釈等で説明したほうが良い。（他のダムも同様）
- ・魚道については、定期報告書での取りまとめ方法を工夫するとともに、引き続き魚道の効
果を検証しつつ、今後の同様事例に活用可能な知見として取りまとめていただきたい。
- ・水源地域動態においては、札幌国際大学との連携が継続していることにも触れたほうが良
いと思う。
- ・美利河ダムのシークエンス景観は、ダム湖が見える区間と見えない区間があることから、
わかりやすくダムに誘導できるようにサインシステムを検討すると良い。

○定期報告書については了承された。指摘事項は定期報告書に反映させる。

北海道地方ダム等管理フォローアップ委員会（第 51 回）議事要旨

1. 日 時：令和 8 年 3 月 6 日（金）13 時 00 分～17 時 00 分
2. 場 所：アスティ 4 5 16 階 1606 大研修室
3. 出席者：黒木委員長、赤坂委員、岡村委員、中井委員、根岸委員、松井委員、丸谷委員、
山下委員
4. 議事要旨

漁川ダム・美利河ダム・二風谷ダムの定期報告書（案）について審議した。

各委員からの主な意見は以下のとおりである。

●二風谷ダム定期報告書（案）について

- ・一般的なダムとは堆砂の考え方が違うため、評価方法だけではなく、定期報告書での表記方法についても引き続き検討が必要である。
- ・サクラマスの遡上数の増加と堆砂状況との関連性について分析してみてはどうか。
- ・下流側から堤体が眺望できることから、かわまちづくりの整備箇所などを新たな視点場として検討してみてはどうか。

○定期報告書については了承された。指摘事項は定期報告書に反映させる。